

高齢者世帯等へのエアコン設置支援を！

民報
おうしゅう

読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢大手町3丁目59
Tel 24-2021
Fax 24-2049



今野裕文議員

8月末のテレビの報道で、7月の岩手県内の熱中症の疑いで救急搬送された方が235人、うち6割以上が65歳以上の高齢者で、搬送された方の半数以上(123人)が、自宅など住居からの搬送だったと報じられています。

今野裕文議員は、この報道を紹介し、最近の夏の暑さは、想定を超える猛暑となっており、エアコンのない高齢者世帯等にとっては命に関わる問題になりつつあるとして、自力でエアコン設置できない高齢者世帯や低所得者世帯、エアコン支給対象になっていない生活保護世帯がエアコンを設置できるよう、エアコン設置支援制度を創設する考えがないか市長に質しました。

奥州市議会9月定例会は、8月30日から9月27日まで開かれました。日本共産党の奥州市議会団(5人)は全員、一般質問を行いました。今回は9月4日に行われた今野裕文議員の質問を紹介します。

高齢者世帯等が

エアコンを設置できるように

国・県へ要望する

倉成淳市長は、次のように回答しました。

エアコン設置支援制度を創設する場合は、予算規模が膨大になることが予測される。全国的な課題であり、エアコンを購入できない高齢者世帯や低所得者世帯がエアコン設置できるよう、国及び県へ要望していくと述べるにとどまりました。

必要性の調査をすべきでは？

今野裕文議員は、夏の暑さが年々ひどくなるので、需要調査をすべきだと提案しました。

担当者は、制度設計が難しいとして、国において考え方の整理をお願いしたいと述べるにとどまりました。

「焼石クアパークひめかゆ」を営業休止にしなければならない！

今野裕文議員は、(株)ひめかゆの株主総会において、「営業継続は年内いっぱいがやっと」との報告がされたと伝えられている問題について、ひめかゆ温泉がなくなるということがあつてはならないと訴え、「現在の状況を見ると、継続営業は非常に困難だと考えざるを得ない」として、今後どのような対応するのか市長の考えを質しました。



民間事業者への

更なる追加支援は困難

倉成淳市長は、令和7年度までの経営安定化補助金などの伴走支援により、施設の継続運営を後押ししてきたが、1民間事業者への更なる追加支援は困難であるとの見解を示しました。そして、焼石クアパークひめかゆは奥州湖周辺エリア活用整備構想において、宿泊、休憩の拠点と位置づけており、奥州湖周辺の魅力が向上し、観光地としての価値が上がることで、民間資本の参入や連携による経営環境の改善が図

られ、結果として、ひめかゆ温泉を含めた奥州周辺施設の集客力の向上及び活性化に寄与すると考えていると述べました。

奥州湖周辺エリア活用整備構想が

具体化するまで

もたないのではない

今野裕文議員は、市長が話した状況(民間資本の参入や連携による経営環境の改善)になるまで、ひめかゆはもたないのではないかと思うとして、休止してしまつてから、また別の企業にお願いし

て立ち上げてもらつて対応するということになるのか、どのように考えているのか質しました。

側面的な支援を継続していく

担当者は、専門の公的な支援機関とのネットワークを有しておりますので、こちらからいろいろな情報収集をしてひめかゆに、情報提供、側面的な支援を継続していきたいとの見解を繰り返しました。

21日「吉田恭子さんを囲むつどい」開催

21日、水沢地区センターで、日本共産党の岩手県副委員長で、衆議院比例東北ブロック予定候補吉田恭子さんの「吉田恭子さんを囲むつどい」が開催されました。

吉田予定候補は、「自民党は総裁選でマスコミをジャックし、解散・総選挙に打って出ようとしている。顔を変えるだけでなく自民党政治のチェンジが必要。日本共産党を勝利させてほしい」とあいさつしました。

このあとの質問コーナーでは、「コメ問題」、「中小零細企業支援」、「市民と野党の共闘」について質問が出され、丁寧に応えました。

「つどい」のあと吉田恭子さんは、コープアテルイそばに移動、降りしきる雨の中、日本共産党への支持を力強く訴えました。

